

裏参道公衆トイレ



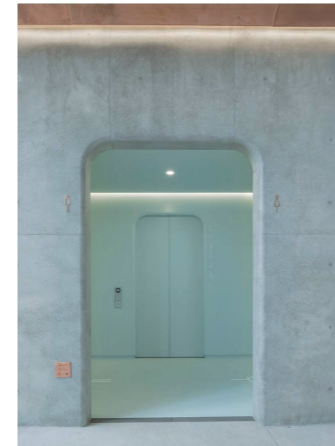
外観

高架下であり幹線道路に面しながらも周囲の喧騒とは対照的に穏やかで、どこか懐かしさを感じさせる佇まい。銅板葺きの葺甲(みのこう)屋根や石垣など、日本の伝統的な建築の要素を取り入れている。



外観(夜景)

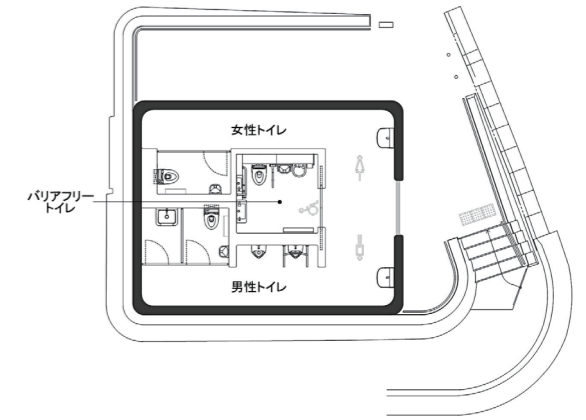
夜間には、屋根の下から照らすLED照明の効果で屋根が浮いているかのように見える。室内の明るい照明が外まであふれ、夜間でも安心してトイレを利用できる。



トイレ入口

コンクリートの外壁から室内の細部までシームレスなデザイン。入口の開口とバリアフリートイレの開口は、同比率で大きさが異なる。またバリアフリートイレの扉は、観音開きの自動扉で出迎えられるように導かれる。

図面



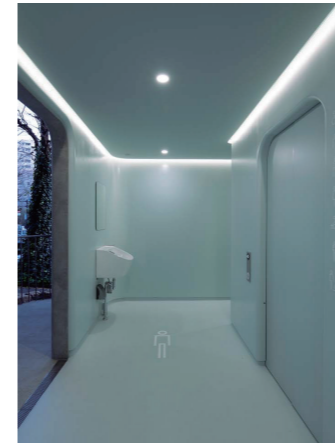
トイレ入口

周囲の喧騒に比べて落ち着いた静かな空間を感じられるようにデザインされた内装は、柔らかな単色のブルーグリーンに統一。床の大きなピクトグラムが各トイレの方向を示している。



バリアフリートイレ

さまざまな使用者に対応したスペースを確保し、車いす使用者に加えて乳幼児連れやオストメイトに配慮した器具がパッケージされた、コンパクトバリアフリートイレパック(乳幼児連れ対応セット)を設置している。



男性トイレ

男女トイレ共に、入口入ってすぐの場所に洗面コーナーを設置。洗面器は内部空間と調和する丸みのある大きなボウルで、金具に触れずに手洗いができる自動水栓と一体型のタイプを採用している。

水まわりの特長

建物の特徴

日本財団が実施する、THE TOKYO TOILET(ザ トウキョウ トイレット)はだれもが快適に使用できる公共トイレを設置するプロジェクト。そのひとつである「裏参道公衆トイレ」は、明治神宮にほど近い首都高速の高架下に立地。建物は周囲の喧騒とは対照的に穏やかで、どこか懐かしさを感じさせる佇まい。銅板葺きの葺甲(みのこう)屋根や石垣など、日本の伝統的な建築の要素を取り入れており、銅版屋根の緑青(環境の影響で灰茶となることも多い)は時間の経過とともに周囲の風景になじみ溶け込んでいく。内部は凹凸がない、特に、垂直方向には直線がなくアールで仕上げたシームレスなデザイン。内装は柔らかなブルーグリーンに統一されている。通路のダウンライト照明もマーク氏のデザインによるもの。

水まわりの特長

トイレは、正面のバリアフリートイレを中心に、男性・女性トイレの3つ空間で構成。バリアフリートイレの扉は観音開きの自動扉で、出迎えられるように導かれる。トイレ空間内の通路は、スムーズでゆとりのある動線を確保。すべての衛生器具は床の清掃性に優れた壁掛式で、内部空間と調和する丸みのあるデザインのものを選定している。また、利用者の快適性に配慮して、大便器にはすべてウォシュレットアプリコットPを設置。バリアフリートイレも、さまざまな使用者に対応したスペースを確保し、車いす使用者に加えて乳幼児連れやオストメイトに配慮した器具がパッケージされた、コンパクトバリアフリートイレパック(乳幼児連れ対応セット)を採用している。

建築概要

名称	裏参道公衆トイレ
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-28-1
施主	日本財団
デザイン	マーク・ニューソン
設計・施工	大和ハウス工業株式会社
竣工年月	2023年1月
建築面積	35.62㎡
延床面積	35.62㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上1階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式:UAXC1CS2A1
 ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840PN
 壁掛小便器:UFH500/スタッフ用洗器:LS850DSA
 コンパクトバリアフリートイレパック:UADBK61L1A1ASN2WA
 ベビーシート:YKA25S/ベビーチェア:YKA15S



男性トイレ

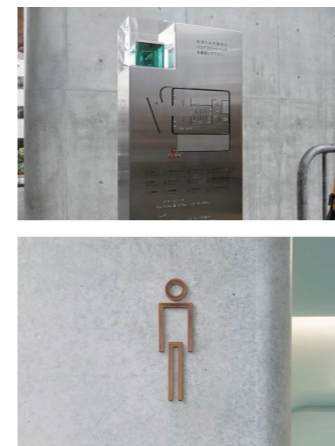
スムーズでゆとりのある動線上に小便器を配置。ライニングを設けずに、シームレスな空間が続いている。小便器は床の清掃性に優れた壁掛式を採用。荷物配慮としてフックを設置している。



女性トイレ



大便器ブースの壁を天井まで立ち上げて個室感を高めている。ブースが使用されていないときは、扉が一定の角度で止まるように設定されており、ブース内が丸見えにならずに、空き状況をひと目で確認できる。



案内板・ピクトグラム

案内板でトイレの配置を確認できるようにしている。また、各空間の入口には、THE TOKYO TOILET(ザ トウキョウ トイレット)プロジェクト共通のピクトグラムを設置。